

ダイワ先進国リートα

為替ヘッジあり（毎月分配型）

為替ヘッジなし（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第96期（決算日 2020年7月13日）

第97期（決算日 2020年8月13日）

第98期（決算日 2020年9月14日）

第99期（決算日 2020年10月13日）

第100期（決算日 2020年11月13日）

第101期（決算日 2020年12月14日）

（作成対象期間 2020年6月16日～2020年12月14日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／不動産投信（リート）	
信託期間	約10年間（2012年6月27日～2022年6月13日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	為替ヘッジあり （毎月分配型）	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II－グローバル・リートα・ファンド（円ヘッジクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし （毎月分配型）	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II－グローバル・リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。また、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、リート（不動産投資信託）への投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5733>
<5734>

為替ヘッジあり (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S&P先進国REIT指数 (現地通貨建て)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
72 期末(2018年 7 月13日)	5,670	80	0.6	18,232	2.8	-	98.3	5,554
73 期末(2018年 8 月13日)	5,580	80	△ 0.2	18,155	△ 0.4	-	98.5	5,412
74 期末(2018年 9 月13日)	5,512	80	0.2	18,425	1.5	-	98.6	5,170
75 期末(2018年10月15日)	5,174	80	△ 4.7	17,258	△ 6.3	-	98.4	4,727
76 期末(2018年11月13日)	5,290	80	3.8	18,158	5.2	-	98.5	4,863
77 期末(2018年12月13日)	5,235	80	0.5	18,086	△ 0.4	-	99.2	4,613
78 期末(2019年 1 月15日)	5,096	80	△ 1.1	17,829	△ 1.4	-	98.4	4,299
79 期末(2019年 2 月13日)	5,157	80	2.8	19,054	6.9	-	98.0	4,228
80 期末(2019年 3 月13日)	5,104	80	0.5	19,318	1.4	0.0	98.5	4,153
81 期末(2019年 4 月15日)	5,105	50	1.0	19,863	2.8	-	98.7	4,088
82 期末(2019年 5 月13日)	5,042	50	△ 0.3	19,683	△ 0.9	-	98.6	4,015
83 期末(2019年 6 月13日)	5,059	50	1.3	20,084	2.0	-	98.8	3,881
84 期末(2019年 7 月16日)	5,044	50	0.7	20,415	1.6	-	98.7	3,737
85 期末(2019年 8 月13日)	4,993	50	△ 0.0	20,386	△ 0.1	-	99.1	3,603
86 期末(2019年 9 月13日)	4,992	50	1.0	20,971	2.9	-	98.5	3,503
87 期末(2019年10月15日)	5,006	50	1.3	21,434	2.2	-	98.7	3,461
88 期末(2019年11月13日)	4,820	50	△ 2.7	20,998	△ 2.0	-	98.3	3,303
89 期末(2019年12月13日)	4,741	50	△ 0.6	20,883	△ 0.5	-	98.4	3,135
90 期末(2020年 1 月14日)	4,742	50	1.1	21,476	2.8	-	98.6	3,115
91 期末(2020年 2 月13日)	4,803	50	2.3	22,275	3.7	-	98.1	3,127
92 期末(2020年 3 月13日)	3,708	50	△21.8	16,895	△24.2	-	98.2	2,389
93 期末(2020年 4 月13日)	3,654	50	△ 0.1	17,070	1.0	-	98.3	2,330
94 期末(2020年 5 月13日)	3,413	50	△ 5.2	15,635	△ 8.4	-	98.4	2,171
95 期末(2020年 6 月15日)	3,575	50	6.2	17,632	12.8	-	98.1	2,278
96 期末(2020年 7 月13日)	3,526	50	0.0	17,079	△ 3.1	-	98.2	2,228
97 期末(2020年 8 月13日)	3,618	50	4.0	17,981	5.3	-	98.4	2,286
98 期末(2020年 9 月14日)	3,509	50	△ 1.6	17,620	△ 2.0	-	98.5	2,200
99 期末(2020年10月13日)	3,567	50	3.1	18,364	4.2	-	98.5	2,128
100 期末(2020年11月13日)	3,539	50	0.6	18,711	1.9	-	98.6	2,090
101 期末(2020年12月14日)	3,533	50	1.2	18,979	1.4	-	98.6	2,065

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 先進国REIT指数 (現地通貨建て) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 先進国REIT指数 (現地通貨建て) の所有権およびその一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

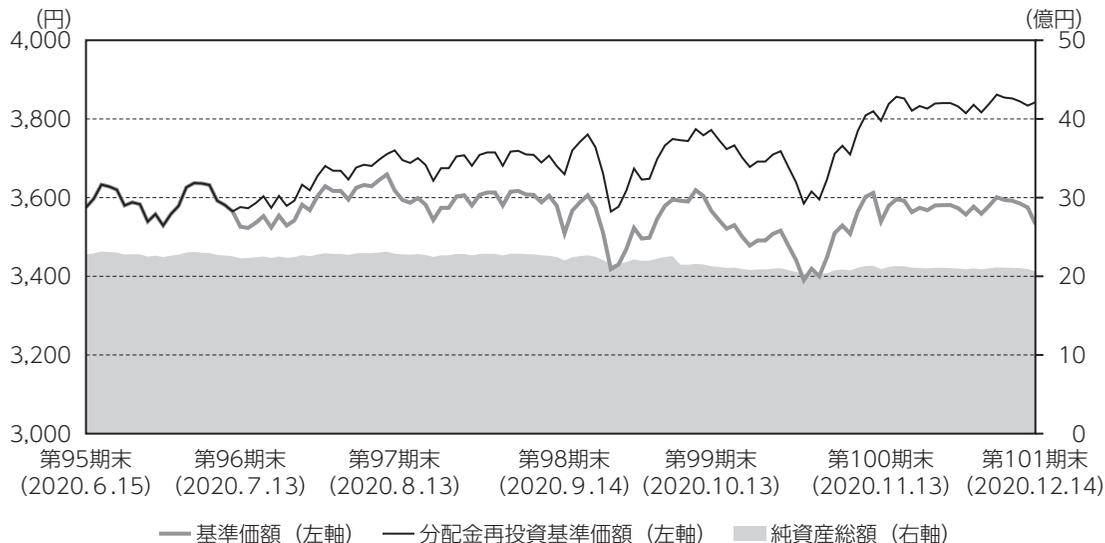
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第 96 期首：3,575円

第101期末：3,533円 (既払分配金300円)

騰落率：7.5% (分配金再投資ベース)

■ 基準価額の主な変動要因

リートα・ファンド (円ヘッジクラス) の上昇がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。リートα・ファンド (円ヘッジクラス) については、先進国のリートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、先進国リートが上昇したことがプラスに寄与し、上昇しました。オプション取引についても、若干ながらプラスに寄与しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※リートα・ファンド (円ヘッジクラス)：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II グローバル・リートα・ファンド (円ヘッジクラス)

ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P先進国REIT指数 (現 地 通 貨 建 て) (参考指数)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
第 96 期	(期首) 2020年 6 月15日	3,575	—	17,632	—	—	98.1
	6 月末	3,558	△0.5	17,081	△3.1	—	98.4
	(期末) 2020年 7 月13日	3,576	0.0	17,079	△3.1	—	98.2
第 97 期	(期首) 2020年 7 月13日	3,526	—	17,079	—	—	98.2
	7 月末	3,617	2.6	17,695	3.6	—	98.4
	(期末) 2020年 8 月13日	3,668	4.0	17,981	5.3	—	98.4
第 98 期	(期首) 2020年 8 月13日	3,618	—	17,981	—	—	98.4
	8 月末	3,613	△0.1	18,104	0.7	—	98.3
	(期末) 2020年 9 月14日	3,559	△1.6	17,620	△2.0	—	98.5
第 99 期	(期首) 2020年 9 月14日	3,509	—	17,620	—	—	98.5
	9 月末	3,496	△0.4	17,474	△0.8	—	98.3
	(期末) 2020年10月13日	3,617	3.1	18,364	4.2	—	98.5
第100期	(期首) 2020年10月13日	3,567	—	18,364	—	—	98.5
	10月末	3,419	△4.1	17,068	△7.1	—	98.4
	(期末) 2020年11月13日	3,589	0.6	18,711	1.9	—	98.6
第101期	(期首) 2020年11月13日	3,539	—	18,711	—	—	98.6
	11月末	3,573	1.0	19,026	1.7	—	97.9
	(期末) 2020年12月14日	3,583	1.2	18,979	1.4	—	98.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020.6.16~2020.12.14)

■先進国リート市況

先進国リート市況は上昇しました。

当作成期首から2020年8月にかけての先進国リート市況は、新型コロナウイルス感染拡大に対する懸念や、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待などが入り混じり、方向感のない展開となりました。9月から10月にかけては、米国大統領および連邦議会選挙に対する警戒感や、感染再拡大を受けて欧州で行動制限が導入されたことから、先行きに対する不透明感が台頭し、リスク回避姿勢が強まりました。11月に入ると、米国大統領および連邦議会選挙をめぐる不透明感が後退したことや、ワクチン開発の進展および早期実用化期待から、先進国リート市況は大きく上昇しました。

国別の現地通貨建ての騰落率を見ると、オーストラリアやオランダなどが相対的に堅調だった一方で、シンガポールや日本の上昇率は相対的に小幅にとどまりました。現地通貨建てのセクター別では、ホテル/リゾートや商業施設などが大きく上昇した一方で、特殊用途施設などは低調でした。

■短期金利市況

日本では、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、短期金利は低位で推移しました。一方、F R B（米国連邦準備制度理事会）は、政策金利の誘導目標レンジを0.00~0.25%で据え置きました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

新型コロナウイルスの影響で、2020年上半期の世界GDP（国内総生産）成長率は大きく落ち込むと予想されますが、今後、新型コロナウイルスに関連する各種制限の緩和が進めば経済活動は急速に活発化すると見込まれ、2020年後半にはGDP成長率も改善する可能性があるとみています。現在の超低金利環境はリート市場にとって追い風ですが、新型コロナウイルスによる店舗閉鎖や事業規模の大幅縮小に直面する商業施設やホテル/リゾートのテナントを中心とした賃料の滞納および減額への懸念があります。このため、これらのセクターの動向に注視していきます。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基つき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2020.6.16~2020.12.14)

■当ファンド

リートα・ファンド (円ヘッジクラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資しました。リートα・ファンド (円ヘッジクラス) への投資割合を高位に維持しました。

■リートα・ファンド (円ヘッジクラス)

安定的な配当が見込め、下値抵抗がある相対的に割安な銘柄を選定し、リーートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、参考指数であるS&P先進国REIT指数に対して産業施設や特殊用途施設などをおおむねオーバーウエートとし、オフィスや住宅などをおおむねアンダーウエートとしました。国別で見ると、堅調なファンダメンタルズと安定した配当利回りの見通しを背景にシンガポールやオーストラリアなどをおおむねオーバーウエートで推移させ、日本や英国などをおおむねアンダーウエートで推移させました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

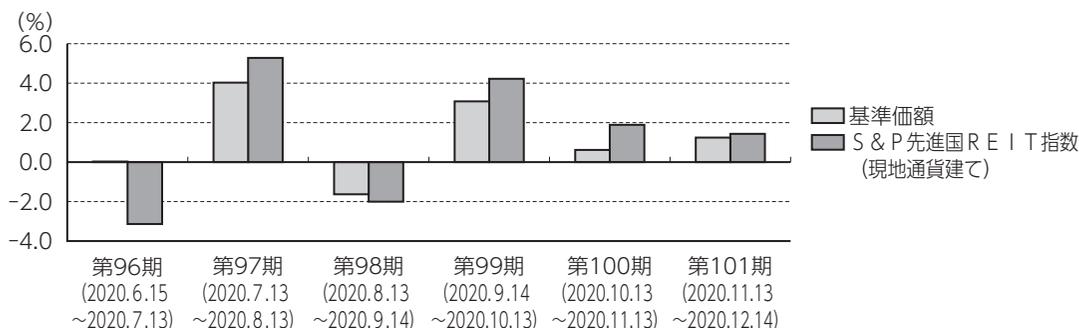
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
	2020年6月16日 ～2020年7月13日	2020年7月14日 ～2020年8月13日	2020年8月14日 ～2020年9月14日	2020年9月15日 ～2020年10月13日	2020年10月14日 ～2020年11月13日	2020年11月14日 ～2020年12月14日
当期分配金(税込み)(円)	50	50	50	50	50	50
対基準価額比率(%)	1.40	1.36	1.40	1.38	1.39	1.40
当期の収益(円)	47	49	41	44	45	40
当期の収益以外(円)	2	0	8	5	4	9
翌期繰越分配対象額(円)	810	810	801	796	791	782

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程(1万口当り)

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 47.17円	✓ 49.78円	✓ 41.12円	✓ 44.92円	✓ 45.18円	✓ 40.63円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	755.55	755.79	755.97	756.13	756.25	756.35
(d) 分配準備積立金	✓ 57.79	✓ 54.75	✓ 54.35	✓ 45.32	✓ 40.13	✓ 35.21
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	860.52	860.33	851.46	846.38	841.57	832.21
(f) 分配金	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	810.52	810.33	801.46	796.38	791.57	782.21

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

新型コロナウイルスの感染拡大と行動規制の強化は冬の間も続くとみられますが、その後はワクチンの実用化と主要各国の財政出動による経済対策によって、力強い経済成長を予想しています。産業施設などのセクターは新型コロナウイルスの影響下においても構造的な成長が期待されます。ただし、オフィスなどの一部セクターでは、行動規制強化を受けて賃料の減免や空室率の上昇が見られており、引き続き注意が必要です。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第96期～第101期 (2020.6.16～2020.12.14)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	24円	0.672%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3,565円です。
(投 信 会 社)	(8)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(16)	(0.438)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	24	0.676	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

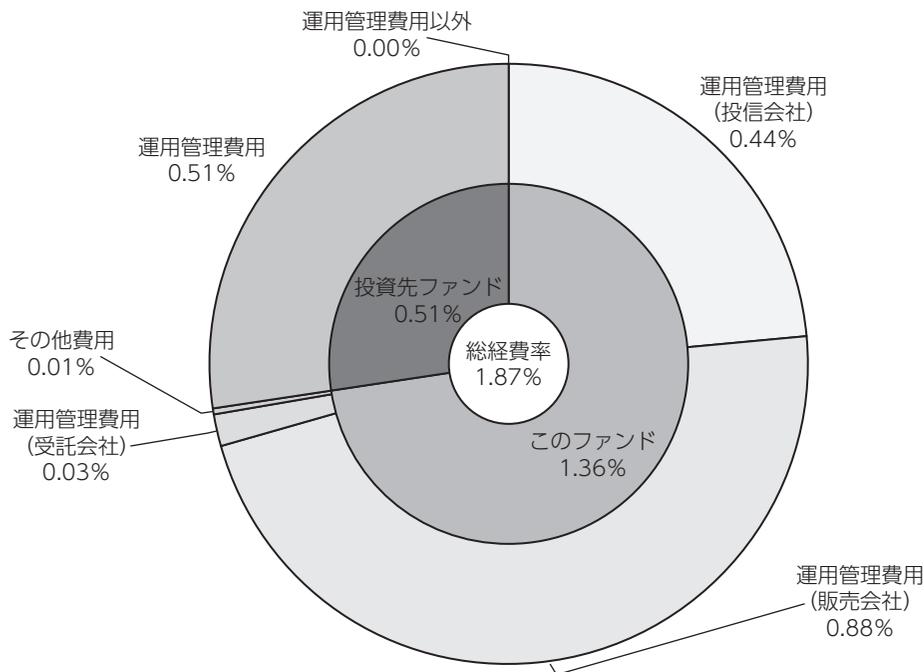
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.87%です。



総経費率 (①+②+③)	1.87%
①このファンドの費用の比率	1.36%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.51%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2020年6月16日から2020年12月14日まで)

決算期	第 96 期 ~ 第 101 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	5,272.33547	178,292	10,843.1118	370,876

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2020年6月16日から2020年12月14日まで)

第 96 期 ~				第 101 期			
買 付			平均単価	売 付			平均単価
銘 柄	□ 数	金 額		銘 柄	□ 数	金 額	
	千口	千円	円		千口	千円	円
				GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	10,843.1118	370,876	34

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 101 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千口	千円	%
GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS	59,194.94804	2,036,898	98.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第95期末	第 101 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	399	399	399

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年12月14日現在

項 目	第 101 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	2,036,898	96.8
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	399	0.0
コール・ローン等、その他	67,320	3.2
投資信託財産総額	2,104,617	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年7月13日)、(2020年8月13日)、(2020年9月14日)、(2020年10月13日)、(2020年11月13日)、(2020年12月14日)現在

項目	第96期末	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末
(A) 資産	2,262,729,977円	2,320,633,894円	2,251,403,021円	2,164,605,231円	2,126,194,942円	2,104,617,693円
コール・ローン等	74,263,058	70,474,941	84,697,038	67,257,497	65,239,410	67,320,049
投資信託受益証券(評価額)	2,188,067,358	2,249,759,392	2,166,306,462	2,096,948,213	2,060,556,011	2,036,898,162
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	399,561	399,561	399,521	399,521	399,521	399,482
(B) 負債	33,990,786	34,232,462	51,288,162	36,494,005	35,629,174	39,507,878
未払収益分配金	31,608,233	31,598,807	31,351,874	29,830,905	29,534,980	29,227,089
未払解約金	-	-	17,192,503	4,232,139	3,623,499	7,773,284
未払信託報酬	2,367,753	2,603,369	2,696,839	2,369,580	2,394,956	2,417,048
その他未払費用	14,800	30,286	46,946	61,381	75,739	90,457
(C) 純資産総額(A-B)	2,228,739,191	2,286,401,432	2,200,114,859	2,128,111,226	2,090,565,768	2,065,109,815
元本	6,321,646,615	6,319,761,468	6,270,374,997	5,966,181,152	5,906,996,082	5,845,417,887
次期繰越増益金	△4,092,907,424	△4,033,360,036	△4,070,260,138	△3,838,069,926	△3,816,430,314	△3,780,308,072
(D) 受益権総口数	6,321,646,615口	6,319,761,468口	6,270,374,997口	5,966,181,152口	5,906,996,082口	5,845,417,887口
1万口当り基準価額(C/D)	3,526円	3,618円	3,509円	3,567円	3,539円	3,533円

*第95期末における元本額は6,374,606,500円、当作成期間(第96期~第101期)中における追加設定元本額は123,620,681円、同解約元本額は652,809,294円です。

*第101期末の計算口数当りの純資産額は3,533円です。

*第101期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,780,308,072円です。

■損益の状況

第96期 自2020年6月16日 至2020年7月13日 第99期 自2020年9月15日 至2020年10月13日
 第97期 自2020年7月14日 至2020年8月13日 第100期 自2020年10月14日 至2020年11月13日
 第98期 自2020年8月14日 至2020年9月14日 第101期 自2020年11月14日 至2020年12月14日

項目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(A) 配当等収益	32,206,446円	32,376,812円	28,502,897円	27,793,693円	29,102,301円	26,014,831円
受取配当金	32,208,019	32,378,238	28,505,226	27,795,264	29,103,279	26,015,630
受取利息	93	115	80	78	-	23
支払利息	△ 1,666	△ 1,541	△ 2,409	△ 1,649	△ 978	△ 822
(B) 有価証券売買損益	△ 29,449,221	60,140,622	△ 62,856,568	39,149,997	△ 13,591,276	1,980,591
売買益	29,345	60,209,489	416,696	40,105,643	1,308,084	2,139,753
売買損	△ 29,478,566	△ 68,867	△ 63,273,264	△ 955,646	△ 14,899,360	△ 159,162
(C) 信託報酬等	△ 2,382,178	△ 2,619,230	△ 2,713,499	△ 2,384,015	△ 2,409,542	△ 2,431,766
(D) 当期損益(A+B+C)	375,047	89,898,204	△ 37,067,170	64,559,675	13,101,483	25,563,656
(E) 前期繰越増益金	△3,387,181,758	△3,404,254,343	△3,308,798,597	△3,202,172,241	△3,126,844,955	△3,101,240,964
(F) 追加信託差損益金	△ 674,492,480	△ 687,405,090	△ 693,042,497	△ 670,626,455	△ 673,151,862	△ 675,403,675
(配当等相当額)	(477,637,279)	(477,643,896)	(474,025,014)	(451,123,878)	(446,718,514)	(442,123,676)
(売買損益相当額)	(△1,152,129,759)	(△1,165,048,986)	(△1,167,067,511)	(△1,121,750,333)	(△1,119,870,376)	(△1,117,527,351)
(G) 合計(D+E+F)	△4,061,299,191	△4,001,761,229	△4,038,908,264	△3,808,239,021	△3,786,895,334	△3,751,080,983
(H) 収益分配金	△ 31,608,233	△ 31,598,807	△ 31,351,874	△ 29,830,905	△ 29,534,980	△ 29,227,089
次期繰越増益金(G+H)	△4,092,907,424	△4,033,360,036	△4,070,260,138	△3,838,069,926	△3,816,430,314	△3,780,308,072
追加信託差損益金	△ 674,492,480	△ 687,405,090	△ 693,042,497	△ 670,626,455	△ 673,151,862	△ 675,403,675
(配当等相当額)	(477,637,279)	(477,643,896)	(474,025,014)	(451,123,878)	(446,718,514)	(442,123,676)
(売買損益相当額)	(△1,152,129,759)	(△1,165,048,986)	(△1,167,067,511)	(△1,121,750,333)	(△1,119,870,376)	(△1,117,527,351)
分配準備積立金	34,749,203	34,466,523	28,521,285	24,015,924	20,865,876	15,114,718
繰越増益金	△3,453,164,147	△3,380,421,469	△3,405,738,926	△3,191,459,395	△3,164,144,328	△3,120,019,115

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第 96 期	第 97 期	第 98 期	第 99 期	第 100 期	第 101 期
(a) 経費控除後の配当等収益	29,824,257円	31,460,074円	25,789,381円	26,803,840円	26,692,754円	23,754,985円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	477,637,279	477,643,896	474,025,014	451,123,878	446,718,514	442,123,676
(d) 分配準備積立金	36,533,179	34,605,256	34,083,778	27,042,989	23,708,102	20,586,822
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	543,994,715	543,709,226	533,898,173	504,970,707	497,119,370	486,465,483
(f) 分配金	31,608,233	31,598,807	31,351,874	29,830,905	29,534,980	29,227,089
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	512,386,482	512,110,419	502,546,299	475,139,802	467,584,390	457,238,394
(h) 受益権総口数	6,321,646,615口	6,319,761,468口	6,270,374,997口	5,966,181,152口	5,906,996,082口	5,845,417,887口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 96 期	第 97 期	第 98 期	第 99 期	第 100 期	第 101 期
1 万口当り分配金	50円	50円	50円	50円	50円	50円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

為替ヘッジなし (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S&P先進国REIT指数 (円建て)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
72 期末(2018年 7 月13日)	6,565	100	2.0	24,033	4.2	-	98.4	3,755
73 期末(2018年 8 月13日)	6,353	100	△ 1.7	23,504	△ 2.2	-	96.7	3,045
74 期末(2018年 9 月13日)	6,307	100	0.8	23,973	2.0	-	98.2	2,937
75 期末(2018年10月15日)	5,969	100	△ 3.8	22,609	△ 5.7	-	98.1	2,759
76 期末(2018年11月13日)	6,173	100	5.1	24,048	6.4	-	98.5	2,899
77 期末(2018年12月13日)	6,115	70	0.2	23,855	△ 0.8	-	98.6	2,720
78 期末(2019年 1 月15日)	5,781	70	△ 4.3	22,635	△ 5.1	-	98.2	2,607
79 期末(2019年 2 月13日)	5,974	70	4.5	24,582	8.6	-	99.0	2,627
80 期末(2019年 3 月13日)	5,986	70	1.4	25,110	2.1	0.0	99.0	2,575
81 期末(2019年 4 月15日)	6,027	70	1.9	25,975	3.4	-	98.3	2,573
82 期末(2019年 5 月13日)	5,825	70	△ 2.2	25,177	△ 3.1	-	98.5	2,423
83 期末(2019年 6 月13日)	5,790	70	0.6	25,424	1.0	-	98.1	2,215
84 期末(2019年 7 月16日)	5,759	70	0.7	25,743	1.3	-	98.2	2,211
85 期末(2019年 8 月13日)	5,564	70	△ 2.2	24,997	△ 2.9	-	98.6	2,076
86 期末(2019年 9 月13日)	5,670	70	3.2	26,313	5.3	-	98.6	2,063
87 期末(2019年10月15日)	5,711	70	2.0	27,008	2.6	-	98.6	2,066
88 期末(2019年11月13日)	5,528	70	△ 2.0	26,667	△ 1.3	-	98.5	1,989
89 期末(2019年12月13日)	5,447	70	△ 0.2	26,616	△ 0.2	-	98.6	1,944
90 期末(2020年 1 月14日)	5,462	70	1.6	27,520	3.4	-	98.4	1,930
91 期末(2020年 2 月13日)	5,523	70	2.4	28,452	3.4	-	97.5	1,937
92 期末(2020年 3 月13日)	4,040	70	△25.6	20,672	△27.3	-	97.5	1,363
93 期末(2020年 4 月13日)	4,049	70	2.0	21,371	3.4	-	98.4	1,357
94 期末(2020年 5 月13日)	3,738	70	△ 6.0	19,383	△ 9.3	-	98.4	1,209
95 期末(2020年 6 月15日)	3,934	70	7.1	22,012	13.6	-	98.2	1,277
96 期末(2020年 7 月13日)	3,858	70	△ 0.2	21,259	△ 3.4	-	98.4	1,247
97 期末(2020年 8 月13日)	3,980	70	5.0	22,548	6.1	-	98.5	1,276
98 期末(2020年 9 月14日)	3,828	70	△ 2.1	21,969	△ 2.6	-	98.4	1,228
99 期末(2020年10月13日)	3,868	50	2.4	22,731	3.5	-	98.5	1,243
100 期末(2020年11月13日)	3,843	50	0.6	23,159	1.9	-	98.6	1,108
101 期末(2020年12月14日)	3,821	50	0.7	23,367	0.9	-	98.5	1,090

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P先進国REIT指数(円建て)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P先進国REIT指数(円建て)の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

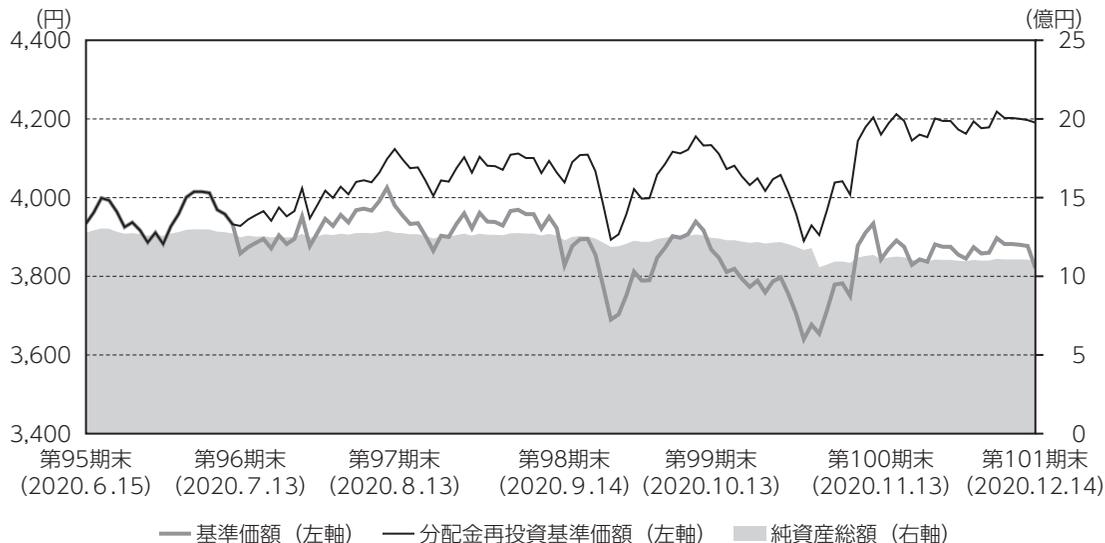
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第 96 期首：3,934円

第101期末：3,821円（既払分配金360円）

騰落率：6.5%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）の上昇がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）については、先進国のリートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、為替相場において円高が進んだことはマイナス要因となりましたが、先進国リートが上昇したことがプラスに寄与し、上昇しました。オプション取引についても、若干ながらプラスに寄与しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

* リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ グローバル・リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）

ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P先進国REIT指数 (円 建 設) (参考指数)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
第 96 期	(期首) 2020年 6 月15日	円 3,934	% -	22,012	% -	% -	% 98.2
	6 月末	3,927	△0.2	21,369	△2.9	-	98.6
	(期末) 2020年 7 月13日	3,928	△0.2	21,259	△3.4	-	98.4
第 97 期	(期首) 2020年 7 月13日	3,858	-	21,259	-	-	98.4
	7 月末	3,928	1.8	21,819	2.6	-	99.1
	(期末) 2020年 8 月13日	4,050	5.0	22,548	6.1	-	98.5
第 98 期	(期首) 2020年 8 月13日	3,980	-	22,548	-	-	98.5
	8 月末	3,939	△1.0	22,473	△0.3	-	98.5
	(期末) 2020年 9 月14日	3,898	△2.1	21,969	△2.6	-	98.4
第 99 期	(期首) 2020年 9 月14日	3,828	-	21,969	-	-	98.4
	9 月末	3,789	△1.0	21,645	△1.5	-	98.3
	(期末) 2020年10月13日	3,918	2.4	22,731	3.5	-	98.5
第100期	(期首) 2020年10月13日	3,868	-	22,731	-	-	98.5
	10月末	3,677	△4.9	20,943	△7.9	-	98.8
	(期末) 2020年11月13日	3,893	0.6	23,159	1.9	-	98.6
第101期	(期首) 2020年11月13日	3,843	-	23,159	-	-	98.6
	11月末	3,855	0.3	23,397	1.0	-	97.0
	(期末) 2020年12月14日	3,871	0.7	23,367	0.9	-	98.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020.6.16~2020.12.14)

■先進国リート市況

先進国リート市況は上昇しました。

当作成期首から2020年8月にかけての先進国リート市況は、新型コロナウイルス感染拡大に対する懸念や、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待などが入り混じり、方向感のない展開となりました。9月から10月にかけては、米国大統領および連邦議会選挙に対する警戒感や、感染再拡大を受けて欧州で行動制限が導入されたことから、先行きに対する不透明感が台頭し、リスク回避姿勢が強まりました。11月に入ると、米国大統領および連邦議会選挙をめぐる不透明感が後退したことや、ワクチン開発の進展および早期実用化期待から、先進国リート市況は大きく上昇しました。

国別の現地通貨建ての騰落率を見ると、オーストラリアやオランダなどが相対的に堅調だった一方で、シンガポールや日本の上昇率は相対的に小幅にとどまりました。現地通貨建てのセクター別では、ホテル/リゾートや商業施設などが大きく上昇した一方で、特殊用途施設などは低調でした。

■為替相場

対象通貨の為替相場は、米ドルの下落(円高)などによりポートフォリオ全体としては対円で下落しました。

米ドル円為替相場は、新型コロナウイルスの感染再拡大に対する懸念や、米中関係の悪化などが嫌気されたことなどを背景に下落しました。2020年11月には、米国議会で上院と下院において多数派が異なる「ねじれ議会」の継続が濃厚となり、大規模な財政出動の可能性が後退したことを受けて上昇する局面もありましたが、当作成期末にかけては、感染再拡大と行動制限などの規制強化の動きなどを背景に下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド(ノンヘッジクラス)とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド(ノンヘッジクラス)への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）

新型コロナウイルスの影響で、2020年上半期の世界GDP（国内総生産）成長率は大きく落ち込むと予想されますが、今後、新型コロナウイルスに関連する各種制限の緩和が進めば経済活動は急速に活発化すると見込まれ、2020年後半にはGDP成長率も改善する可能性があるかとみています。現在の超低金利環境はリート市場にとって追い風ですが、新型コロナウイルスによる店舗閉鎖や事業規模の大幅縮小に直面する商業施設やホテル／リゾートのテナントを中心とした賃料の滞納および減額への懸念があります。このため、これらのセクターの動向に注視していきます。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2020.6.16～2020.12.14）

■当ファンド

リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資しました。リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）

安定的な配当が見込め、下値抵抗力がある相対的に割安な銘柄を選定し、リーートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、参考指数であるS&P先進国REIT指数に対して産業施設や特殊用途施設などをおおむねオーバーウエートとし、オフィスや住宅などをおおむねアンダーウエートとしました。国別で見ると、堅調なファンダメンタルズと安定した配当利回りの見通しを背景にシンガポールやオーストラリアなどをおおむねオーバーウエートで推移させ、日本や英国などをおおむねアンダーウエートで推移させました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

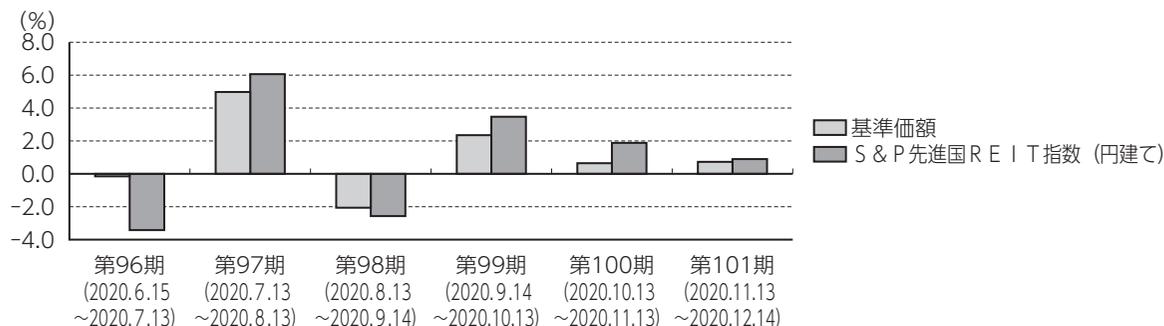
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
	2020年6月16日 ~2020年7月13日	2020年7月14日 ~2020年8月13日	2020年8月14日 ~2020年9月14日	2020年9月15日 ~2020年10月13日	2020年10月14日 ~2020年11月13日	2020年11月14日 ~2020年12月14日
当期分配金（税込み）（円）	70	70	70	50	50	50
対基準価額比率（%）	1.78	1.73	1.80	1.28	1.28	1.29
当期の収益（円）	58	61	51	50	50	50
当期の収益以外（円）	11	8	18	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	1,392	1,384	1,366	1,370	1,376	1,377

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 58.41円	✓ 61.82円	✓ 51.57円	✓ 54.47円	✓ 55.88円	✓ 50.65円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 1,404.19	✓ 1,392.67	✓ 1,384.55	1,366.13	1,366.16	1,366.30
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	4.46	10.30
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	1,462.61	1,454.49	1,436.12	1,420.61	1,426.50	1,427.26
(f) 分配金	70.00	70.00	70.00	50.00	50.00	50.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	1,392.61	1,384.49	1,366.12	1,370.61	1,376.50	1,377.26

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）

新型コロナウイルスの感染拡大と行動規制の強化は冬の間も続くと思われますが、その後はワクチンの実用化と主要各国の財政出動による経済対策によって、力強い経済成長を予想しています。産業施設などのセクターは新型コロナウイルスの影響下においても構造的な成長が期待されます。ただし、オフィスなどの一部セクターでは、行動規制強化を受けて賃料の減免や空室率の上昇が見られており、引き続き注意が必要です。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第96期～第101期 (2020.6.16～2020.12.14)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	26円	0.672%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3,883円です。
（投 信 会 社）	(8)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(17)	(0.438)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	26	0.676	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

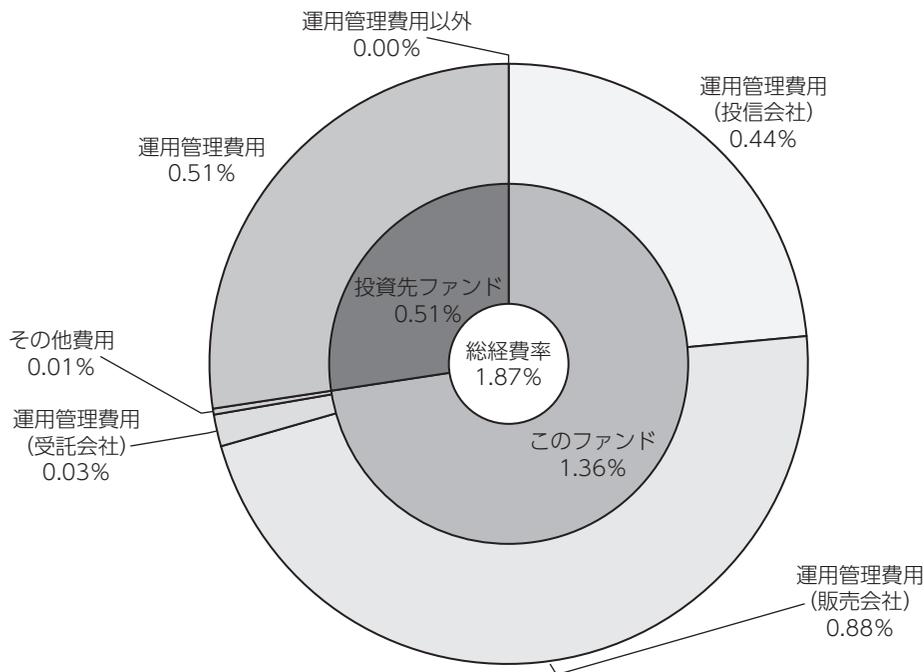
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.87%です。



総経費率 (①+②+③)	1.87%
①このファンドの費用の比率	1.36%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.51%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2020年6月16日から2020年12月14日まで）

決算期	第 96 期 ~ 第 101 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
外国（邦貨建）	2,481.04011	112,092	5,802.80421	259,217

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注2）金額は受渡し代金。
（注3）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2020年6月16日から2020年12月14日まで）

第 96 期				~	第 101 期			
買 付			平均単価	売 付			平均単価	
銘 柄	□ 数	金 額		銘 柄	□ 数	金 額		
	千□	千円	円		千□	千円	円	
				GLOBAL REIT ALPHA FUND NON HEDGED CLASS（ケイマン諸島）	5,802.80421	259,217	44	

（注1）金額は受渡し代金。
（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 101 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） GLOBAL REIT ALPHA FUND NON HEDGED CLASS	千□ 23,584,53286	千円 1,074,770	% 98.5

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第95期末	第 101 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□ 99	千□ 99	千円 99

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年12月14日現在

項 目	第 101 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,074,770	% 97.1
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	31,889	2.9
投資信託財産総額	1,106,759	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年7月13日)、(2020年8月13日)、(2020年9月14日)、(2020年10月13日)、(2020年11月13日)、(2020年12月14日)現在

項目	第96期末	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末
(A) 資産	1,272,366,708円	1,302,988,147円	1,253,610,044円	1,261,780,872円	1,125,670,013円	1,106,759,946円
コール・ローン等	44,953,179	45,210,527	43,831,910	36,390,046	32,010,100	31,889,330
投資信託受益証券(評価額)	1,227,313,639	1,257,677,730	1,209,678,254	1,225,290,946	1,093,560,033	1,074,770,746
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	99,890	99,890	99,880	99,880	99,880	99,870
(B) 負債	24,760,962	26,290,535	24,643,802	18,039,479	16,747,449	16,088,928
未払収益分配金	22,639,012	22,453,577	22,474,996	16,075,440	14,427,798	14,272,462
未払解約金	784,000	2,371,297	642,137	602,385	933,594	496,805
未払信託報酬	1,329,642	1,448,749	1,500,502	1,327,404	1,343,748	1,269,625
その他未払費用	8,308	16,912	26,167	34,250	42,309	50,036
(C) 純資産総額(A-B)	1,247,605,746	1,276,697,612	1,228,966,242	1,243,741,393	1,108,922,564	1,090,671,018
元本	3,234,144,645	3,207,653,899	3,210,713,787	3,215,088,047	2,885,559,745	2,854,492,499
次期繰越損益金	△1,986,538,899	△1,930,956,287	△1,981,747,545	△1,971,346,654	△1,776,637,181	△1,763,821,481
(D) 受益権総口数	3,234,144,645口	3,207,653,899口	3,210,713,787口	3,215,088,047口	2,885,559,745口	2,854,492,499口
1万口当り基準価額(C/D)	3,858円	3,980円	3,828円	3,868円	3,843円	3,821円

*第95期末における元本額は3,247,295,611円、当作成期間(第96期~第101期)中における追加設定元本額は88,775,578円、同解約元本額は481,578,690円です。

*第101期末の計算口数当りの純資産額は3,821円です。

*第101期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,763,821,481円です。

■損益の状況

第96期 自2020年6月16日 至2020年7月13日 第99期 自2020年9月15日 至2020年10月13日
 第97期 自2020年7月14日 至2020年8月13日 第100期 自2020年10月14日 至2020年11月13日
 第98期 自2020年8月14日 至2020年9月14日 第101期 自2020年11月14日 至2020年12月14日

項目	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期
(A) 配当等収益	20,230,976円	20,300,541円	18,069,197円	18,316,515円	17,477,696円	15,737,919円
受取配当金	20,231,850	20,301,103	18,070,415	18,317,343	17,478,290	15,738,478
受取利息	47	34	40	42	-	22
支払利息	△ 921	△ 596	△ 1,258	△ 870	△ 594	△ 581
(B) 有価証券売買損益	△ 21,034,040	△ 42,870,080	△ 43,024,243	△ 12,189,744	△ 9,037,674	△ 6,520,578
売買益	12,121	42,918,649	106,218	12,241,815	8,037,252	54,427
売買損	△ 21,046,161	△ 48,569	△ 43,130,461	△ 52,071	△ 17,074,926	△ 6,575,005
(C) 信託報酬等	△ 1,337,740	△ 1,457,563	△ 1,509,757	△ 1,335,487	△ 1,351,927	△ 1,277,352
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,140,804	△ 61,713,058	△ 26,464,803	△ 29,170,772	△ 7,088,095	△ 7,939,989
(E) 前期繰越損益金	△ 1,402,372,197	△ 1,404,080,248	△ 1,356,339,015	△ 1,394,699,806	△ 1,235,697,473	△ 1,224,405,295
(F) 追加信託差損益金	△ 559,386,886	△ 566,135,520	△ 576,468,731	△ 589,742,180	△ 533,600,005	△ 533,083,713
(配当等相当額)	(454,136,957)	(446,720,684)	(444,539,380)	(439,224,305)	(394,214,398)	(390,011,138)
(売買損益相当額)	(△1,013,523,843)	(△1,012,856,204)	(△1,021,008,111)	(△1,028,966,485)	(△ 927,814,403)	(△ 923,094,851)
(G) 合計(D+E+F)	△ 1,963,899,887	△ 1,908,502,710	△ 1,959,272,549	△ 1,955,271,214	△ 1,762,209,383	△ 1,749,549,019
(H) 収益分配金	△ 22,639,012	△ 22,453,577	△ 22,474,996	△ 16,075,440	△ 14,427,798	△ 14,272,462
次期繰越損益金(G+H)	△ 1,986,538,899	△ 1,930,956,287	△ 1,981,747,545	△ 1,971,346,654	△ 1,776,637,181	△ 1,763,821,481
追加信託差損益金	△ 563,132,662	△ 568,757,017	△ 582,384,287	△ 589,742,180	△ 533,600,005	△ 533,083,713
(配当等相当額)	(450,391,181)	(444,099,187)	(438,623,824)	(439,224,305)	(394,214,398)	(390,011,138)
(売買損益相当額)	(△1,013,523,843)	(△1,012,856,204)	(△1,021,008,111)	(△1,028,966,485)	(△ 927,814,403)	(△ 923,094,851)
分配準備積立金	-	-	-	1,439,248	2,985,224	3,128,583
繰越損益金	△ 1,423,406,237	△ 1,362,199,270	△ 1,399,363,258	△ 1,383,043,722	△ 1,246,022,400	△ 1,233,866,351

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 96 期	第 97 期	第 98 期	第 99 期	第 100 期	第 101 期
(a) 経費控除後の配当等収益	18,893,236円	19,832,080円	16,559,440円	17,514,688円	16,125,769円	14,460,567円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	454,136,957	446,720,684	444,539,380	439,224,305	394,214,398	390,011,138
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	1,287,253	2,940,478
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	473,030,193	466,552,764	461,098,820	456,738,993	411,627,420	407,412,183
(f) 分配金	22,639,012	22,453,577	22,474,996	16,075,440	14,427,798	14,272,462
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	450,391,181	444,099,187	438,623,824	440,663,553	397,199,622	393,139,721
(h) 受益権総口数	3,234,144,645□	3,207,653,899□	3,210,713,787□	3,215,088,047□	2,885,559,745□	2,854,492,499□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 96 期	第 97 期	第 98 期	第 99 期	第 100 期	第 101 期
1 万 口 当 り 分 配 金	70円	70円	70円	50円	50円	50円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド
円ヘッジクラス／ノンヘッジクラス

当ファンド（ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり（毎月分配型）／為替ヘッジなし（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド 円ヘッジクラス／ノンヘッジクラス」に投資しておりますが、以下の内容はすべてのクラスを合算しております。

（注）2020年12月14日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

貸借対照表

2020年2月29日

	(円)
資産	
担保付スワップ投資の評価額（簿価： 12,868,543,825円）	6,782,602,117
デリバティブ金融商品の評価額	121,232,956
未収利息	1,368,123
資産合計	6,905,203,196
負債	
デリバティブ金融商品の評価額	138,702,321
未払報酬代行会社報酬	1,368,123
負債合計	140,070,444
換金可能受益証券の保有者に帰属する純資産	6,765,132,752
下記に属する純資産：	
ノンヘッジクラス受益証券	1,678,486,264
円ヘッジクラス受益証券	3,147,754,824
通貨セレクトクラス受益証券	1,938,891,664
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	－
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	－
下記に属する発行済受益証券口数：	
ノンヘッジクラス受益証券	28,862,488.06
円ヘッジクラス受益証券	74,343,286.86
通貨セレクトクラス受益証券	73,564,087.84
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	－
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	－
下記に属する受益証券一口当り純資産額：	
ノンヘッジクラス受益証券	58.154
円ヘッジクラス受益証券	42.340
通貨セレクトクラス受益証券	26.356
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	－
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	－

包括利益計算書

2020年2月29日に終了した会計年度

	(円)
収益	
時価による損益通算後の金融商品からの収益	
手数料収入	1,406,881,667
担保付スワップ投資による損益	(1,241,539,519)
デリバティブの損益	(16,801,112)
	<u>148,541,036</u>
収益合計	<u>148,541,036</u>
営業費用	46,363,682
営業費用合計	<u>46,363,682</u>
営業利益（金融費用控除前および控除後を含む）	102,177,354
換金可能受益証券の保有者への分配金	(1,360,517,985)
分配金支払後の換金可能受益証券の保有者に帰属する純資産の変動	<u><u>(1,258,340,631)</u></u>

デリバティブ金融商品（為替先渡取引）

2020年2月29日時点での建玉残高

決済日	取引数	受取（評価益） （円）	支払（評価損） （円）	差引評価額 （円）
2020年3月11日	12	37,257,635	(120,996,224)	(83,738,589)
2020年3月26日	28	83,975,321	(17,706,097)	66,269,224
評価額合計		<u>121,232,956</u>	<u>(138,702,321)</u>	<u>(17,469,365)</u>

<補足情報>

当ファンド（ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり（毎月分配型）／為替ヘッジなし（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2020年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第101期の決算日（2020年12月14日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

2020年6月16日～2020年12月14日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2020年12月14日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第11期 (決算日 2020年12月9日)

(作成対象期間 2019年12月10日～2020年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

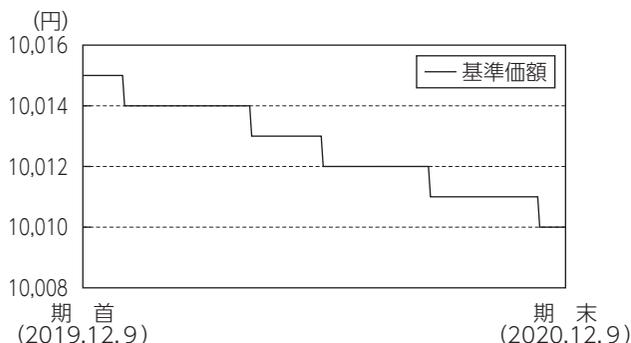
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2019年12月9日	円	%	%
12月末	10,015	0.0	-
2020年1月1日	10,014	△0.0	-
2月末	10,014	△0.0	-
3月末	10,014	△0.0	-
4月末	10,013	△0.0	-
5月末	10,013	△0.0	-
6月末	10,012	△0.0	-
7月末	10,012	△0.0	-
8月末	10,011	△0.0	-
9月末	10,011	△0.0	-
10月末	10,011	△0.0	-
11月末	10,010	△0.0	-
(期末)2020年12月9日	10,010	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,015円 期末：10,010円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	88,460,615	100.0
投資信託財産総額	88,460,615	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	88,460,615,301円
コール・ローン等	88,460,615,301
(B) 負債	50,000,000
未払解約金	50,000,000
(C) 純資産総額(A - B)	88,410,615,301
元本	88,319,921,795
次期繰越損益金	90,693,506
(D) 受益権総口数	88,319,921,795口
1万口当り基準価額(C/D)	10,010円

* 期首における元本額は103,532,314,258円、当作成期間中における追加設定元本額は103,255,612,211円、同解約元本額は118,468,004,674円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック-947,268円、ダイワ/ミレリアセット・インド株ファンド - インドの匠-29,910,270円、ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジあり) 998円、ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジなし) 998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、US短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) - ロボテック(年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、iFreeレパレッジ S & P 500 1,249,412,852円、iFreeレパレッジ N A S D A Q 100 11,006,295,149円、米国4資産リスク分散ファンド(年2回決算型) 689,912円、グリーンテック株式ファンド(資産成長型) 998,802円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (毎月決算/予想分配金提示型) 999円、ダイワ上場投信-日経平均レパレッジ・インデックス2,927,475,552円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインバース・インデックス6,683,086,104円、ダイワ上場投信-TOPIXレパレッジ(2倍) 指数1,085,050,377円、ダイワ上場投信-TOPIXダブルインバース(-2倍) 指数1,226,094,880円、ダイワ上場投信-日経平均インバース・インデックス25,058,858,800円、ダイワ上場投信-TOPIXインバース(-1倍) 指数11,170,317,850円、ダイワ上場投信-JPX日経400レパレッジ・インデックス387,469,071円、ダイワ上場投信-JPX日経400インバース・インデックス611,537,975円、ダイワ上場投信-JPX日経400ダブルインバース・インデックス141,884,108円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-10 997円、先進国トータルリターン戦略ファンド(リスク抑制型/適格機関投資家専用) 6,988,339,549円、ダイワ日本株ベア・ファンド(適格機関投資家専用) 19,374,063,390円、低リスク型アロケーションファンド(金利トレンド判断付き/適格機関投資家専用) 179,433,743円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S L Tレド-5,091,608円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ149,382,442円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ5,609,419円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 豪ドル・コース(毎月分配型) 595,106円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 987,373円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 494,581円、ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレリアセット・細細株株式ファンド9,958,176円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) ブラジル・レアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) - ロボテック(年1回) -100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり(毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし(毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進

国リートα 円ヘッジコース(毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース(毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレリアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース(毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,010円です。

■損益の状況

当期 自2019年12月10日 至2020年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 34,974,173円
受取利息	1,075,374
支払利息	△ 36,049,547
(B) その他費用	△ 1,522,123
(C) 当期損益金(A + B)	△ 36,496,296
(D) 前期繰越損益金	156,051,230
(E) 解約差損益金	△161,476,434
(F) 追加信託差損益金	132,615,006
(G) 合計(C + D + E + F)	90,693,506
次期繰越損益金(G)	90,693,506

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。